

## かつしかごみ減量リサイクル推進協議会 第5回啓発活動部会結果

第5回啓発活動部会では部会員の改選があったため、部会長及び副部会長の選出を行い、その後、平成21年度の取り組みについて検討を行ないました。

そして、今回の検討結果については7月に開催される推進協議会で啓発活動部会から事業提案として、提案していくことが確認されました。

### 1. 平成21年度「ごみ減量月間」の取組内容について

ごみ減量キャンペーンとして、区民が身近にごみの発生抑制に取り組むことができる、買物時のマイバッグ持参キャンペーンを10月のごみ減量月間を中心に展開し、区民のごみの減量に対する意識の醸成を促します。

また、同時にアンケートを実施することで、区民のごみ減量に対する意識を把握し、今後の推進協議会の活動の参考とします。

なお実施に、商店街や大型店等のイベントにあわせての実施や、産業フェアなどのイベントを活用してごみ減量やリサイクルの推進を呼びかけていくものとします。

### 街頭キャンペーンの実施内容について

昨年度の実施地区14会場を中心に実施を予定しています。

平成20年度街頭キャンペーン開催場所等		
実施日	実施地区	実施会場
9月28日(日)	四つ木 地区	まいろーど四つ木商店街
10月3日(金)	堀切 地区	堀切商店街堀切21
10月3日(金)	高砂 地区	高砂商店会・高砂エビス通り商店会・高砂南町商友会
10月4日(土)	新小岩 地区	西友新小岩店
10月4日(土)	金町 地区	金町末広商店会
10月10日(金)	鎌倉 地区	千代田通商店会
10月11日(土)	新小岩 地区	みのり会商店会
10月25日(土)	亀有 地区	亀有地区商店街協議会
10月25日(土)	お花茶屋地区	お花茶屋商店街
10月31日(金)	立石 地区	立石仲見世共盛会
10月31日(金)	金町 地区	金町しょうぶ通り商店街
11月1日(金)	柴又 地区	柴又中央会・柴又親商会
11月1日(金)	亀有 地区	イトーヨーカドー亀有駅前店
11月2日(金)	金町 地区	金町とうきゅう

またマイバッグの利用促進を図るために、マイバッグの配布だけでなく利用促進を積極的に行うキャンペーンとしていきます。各実施会場には、可能な範囲での協力を求めていくこととします。

(利用促進例)

- ・マイバッグ持参による買物ポイントの付与や福引などの抽選券（補助券）等の付与
- ・マイバッグ持参者のみに販売する特売品の設置
- ・商店会で制作するチラシ・ポスターによる利用の働きかけやレジにおける声かけ等

### 産業フェアへの参加について

10月16日(金)から18日(日)に行われる産業フェアに参加し、イベントやパネル展示等により推進協議会の取組みの紹介等を行うことで、ごみの減量やリサイクルの推進について意識啓発・行動促進を図ります。

なおイベントは、ゲーム形式など体験型のイベントにより、子どもへの教育的効果も考慮して、ごみの減量やリサイクルの推進を呼びかけていきます。

### ごみ減量・清掃フェアへの参加について

10月に葛飾清掃工場で行われる予定の「ごみ減量・清掃フェア」に参加し、ごみ減量キャンペーンを実施します。推進協議会の取組みの紹介等を行うことで、ごみの減量やリサイクルの推進について意識啓発・行動促進を図っていきます。

### ごみ減量月間における各団体への協力依頼について

各団体へは、キャンペーンにおける人員等の協力及び事前PR等の協力を依頼していきます。

- ・当日の人員等協力
  - ・キャンペーン会場の提供
  - ・ポスターの掲示
  - ・店内、街頭放送等
  - ・事前及びキャンペーン当日の放送等によるPR
- ・物品の提供については、推進協議会参加団体及び企業に呼びかけをする。
- ・提供を受けた区民団体や企業については、キャンペーンで配布するPR用チラシにより、ごみ減量に関する取組みを中心にした内容で団体・企業のPRをしていきます。

#### 平成20年度物品提供内容

団体・事業者	提供物品	配布先
かつしか異業種交流会	マイバック	産業フェア参加者
株式会社タカラトミー	おもちゃ	産業フェア参加者
森永乳業株式会社	パック飲料	街頭キャンペーン参加者 (みのり商店会)
ミヨシ油脂株式会社	ノート	産業フェア参加者
レンゴー株式会社	水切りごみ袋	産業フェア参加者

## 2. 「ごみ減量の日」の推進について

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、平成18年11月5日から毎月5日を「ごみ減量の日」として区民、事業者それぞれの取り組み内容を示し、ごみ減量キャンペーンなどで効果的なPRを行い、ごみの減量に対する活動の全区的な広がりを図っています。

そこで、今年度の具体的なPR方法や平成21年10月以降の取り組み内容について検討しました。

### (1) 実施内容

概ね半年ごとを目安として区民向け、事業者向けのそれぞれの重点活動内容を定め、広報紙をはじめ、回覧板やチラシ等で広くPRしていく。

### (2) PR展開

#### 区民向けPRについて

自治町会連合会作成の回覧板（年2回作成）にてPRを行います。

#### 事業者向けPRについて

事業者向けチラシ（年2回作成）を利用したPRを行う。チラシの裏面を店内や事業所内に掲示できるポスター形式とし、それを掲示することで、区民へのPRにもつながるものとします。

#### ごみ減量キャンペーンでのPRについて

10月又は11月の「ごみ減量の日」前後に行うごみ減量キャンペーンについては、会場にてパネルの展示などを行い、「ごみ減量の日」のPRも併せて実施していきます。

#### その他

「ごみ減量の日」を広く普及する目的で、広報かつしかやホームページ、かつしかエフエム等を利用したPRを行う。更に毎月1日から5日までは区役所入口など3箇所へのぼり旗を掲げ、来庁者に対してPR活動を行ないます。

### (3) 取り組み内容

#### 現在（平成21年4月から9月まで）の取り組み内容

- ・区民の皆さんは...積極的にばら売り・量り売りを利用しましょう。
- ・小売店の皆さんは...不要な容器包装の使用を減らしましょう。
- ・事業所の皆さんは...不用品や廃棄物のリサイクルを進めましょう。

(区民の皆さんは)マイバッグを利用してエコ活動に参加しましょう。

お買い物のときにお店からもらうレジ袋は、日本では年間約300億枚が使用されています。1枚製造するのに約20ccの原油が使用されているとすると、約60万ℓの原油が使われる計算になります。また、製造・廃棄の過程で排出される二酸化炭素が1枚につき約60mgといわれています。レジ袋を断ることによって、あなたもエコ活動に参加できます。

(小売店の皆さんは)マイバッグの利用を促進しましょう。

マイバッグの利用は環境への負荷の軽減のみならず、小売店のレジ袋購入経費を削減できることにもつながります。マイバッグの利用をお客様にできる限り呼びかけていき、または、マイバッグ利用者に特典をつけるなどマイバッグ利用率が上がるような取り組みをしましょう。

(事業所の皆さんは)再利用・リサイクルで廃棄物の減量を進めましょう。

既存廃棄物の再利用・リサイクルにより廃棄物を減らすことによって、廃棄物処理経費や原料購入経費の削減につながります。他用途への転用や他で必要とする事業者への譲渡といったアイデアや再利用などで廃棄物自体を減らす工夫を凝らし、ごみの減量を進めていきましょう。

### 3. 区民・事業者・区による三者の意見交換会の実施について

平成21年度の三者の意見交換会については、ごみの減量に向けた具体的な行動についてテーマを絞って、引き続き推進協議会参加メンバーによる意見交換会を学識経験者をコーディネーターとして迎えて開催します。

それぞれの立場、役割を再認識し、相互理解を深めることでごみの減量やリサイクル推進のための問題解決や実現可能な具体的な行動を考え今後の推進協議会の活動の参考とします。

#### (1) テーマについて

テーマについては、ごみ減量やリサイクルで今後取り組んでいくべき事項に焦点をあて、コーディネーターを中心に具体的な取り組みや意見を交換する必要があると思われる内容を啓発活動部会において検討し、決定していきます。

#### (2) 実施時期について

2月に予定している第14回かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会終了後に実施する予定です。

( 3 ) 意見交換会進行

コーディネーター（ 1 名 ）の基調講演をもとに三者による意見交換を行います。

- ・基調講演（ 4 5 分程度 コーディネーターによる基調講演）
- ・意見交換会（ 1 時間程度 ごみ減量に関する意見交換会）

( 4 ) その他

基調講演及び意見交換会については区民が聴講できるものとし、聴講希望者を事前に募集します。